

ADULT ONLY

かがみん♪武尊 成年向



成年 HANA TO RIBON
華としほん

24

ぷりぷり右衛門
PURI PURI UEMON

わたしには彼氏がいる。
彼は一人暮らしなので、下校時に立ち寄るこ
とも。

「こなた」や「つかさ」には秘密にしていたんだ
けど。ばれちゃったんだよね。
しかも、エッチしている仲というところまで。
不覚〜っ！



でも、「二人には知られていない、
もう一つの秘密が……
彼は、「こなた」と同趣味の人な
んです。

これは「こなた」だけには、死
んでもバレたくないな〜（苦
笑）

明日は休日。学校帰りに、泊ま
るつもりで彼の部屋に来てます。
もちろん家族には「勉強会」と
かウソってますけどね。

で、さっそく彼に求められるま
まに……





彼の部屋で、彼の布団でエッチすると。なんか
安心する。

布団は彼の臭いがしててスキ♪
彼が留守の時には、彼の枕に顔を埋めて帰宅を
待ちわびることも。

常時敷きっぱなしの布団に制服のまま寝かされ。
されるがまま身を香ねる。

ショーツを捻り寄せ。隙間からアソコをコジ拵
げる彼の指。

「このショーツ高いんだよー」「キレイに脱がして
からしてよ〜〜！」

彼を意識して良いショーツをはいてきたのは誤算
だった。

乱暴に扱われるなら。「3枚で五百円」の「L」の
品をはいてくればよかったよ(むっ〜〜…)



太股の間に頭を押し込み。顔を股間にすり寄せてくる彼。

彼の「吐息」「温もり」「髪」「髭」の感触が次のステップを予感させ。ドキドキを誘う。指でアソコが大きく広げられる。舌が、唇がアソコを舐め、吸う。

スカートの中に頭をつっこみ。むさぼるようにアソコを舐めまわす彼。

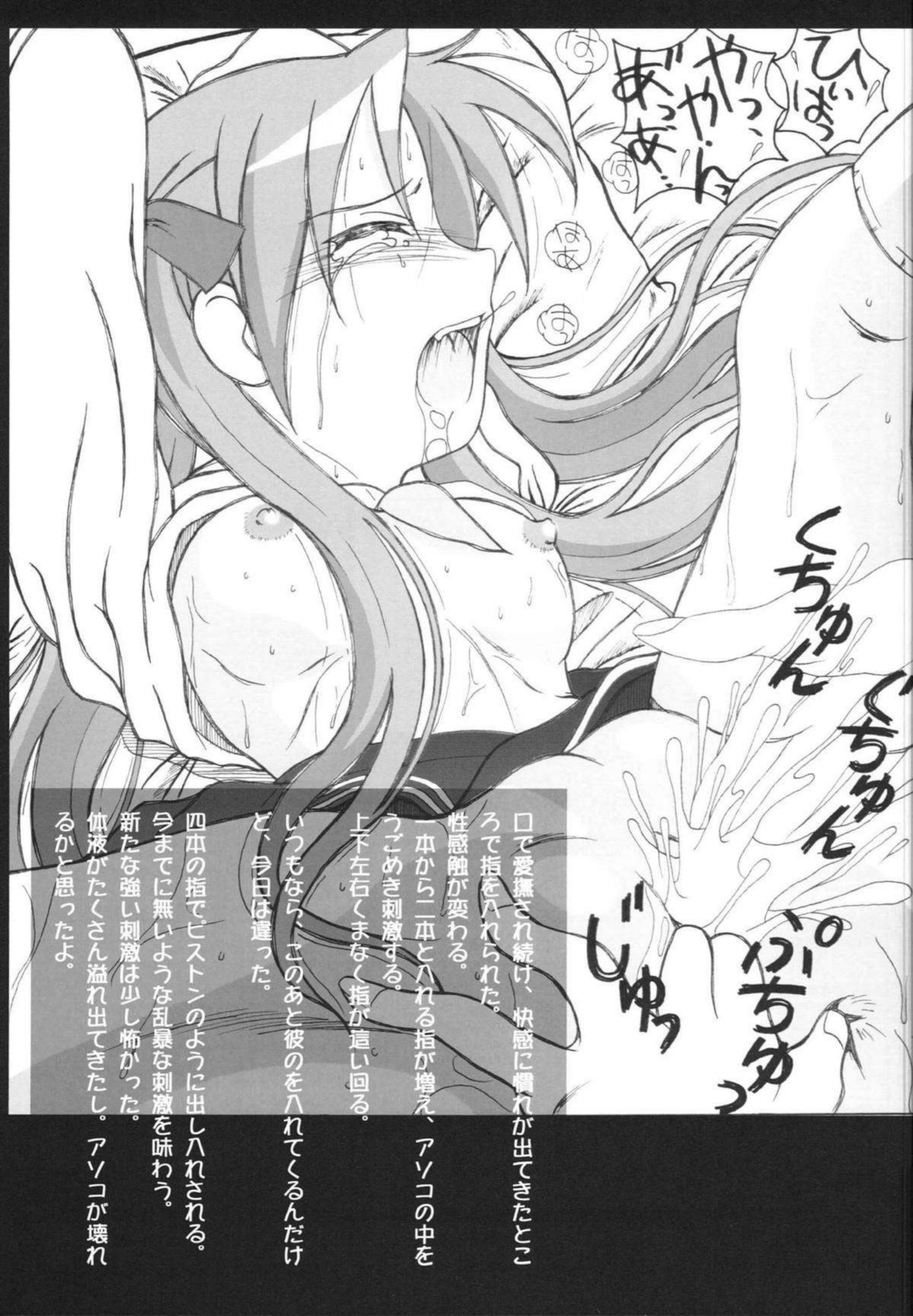


指を押し込み、拡げられ。ヒダの隅々まで
 舐めあげられる。
 アソコを舐められるのはテシがある。
 でも、同時に「性器を舐めてもらう」とい
 う行為は、征服感に似た精神的快感を味わ
 う。

しゅん、しゅん、しゅん

ひゅん、ひゅん、ひゅん
 しゅん、しゅん、しゅん
 の

しゅん、しゅん、しゅん



ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

わんわん
わんわん

口で愛撫され続け、快感に慣れが出てきたところ
ろで指を入れられた。
性感触が変わる。
一本から二本と入る指が増え、アソコの中を
うごめき刺激する。
上下左右くまなく指が這い回る。
いつもなら、このあと彼のを入れてくるんだけど、
今日は違った。
四本の指でピストンのように入れられる。
今までに無いような乱暴な刺激を味わう。
新たな強い刺激は少し怖かった。
体液がたくさん溢れ出てきたし。アソコが壊れる
かと思ったよ。

彼のアソコはパンパンになっていた。
彼はソシを入れることなく、わたしのアソコに擦り付ける。
「入れて欲しい？」と彼が耳元で呟く。

いっしょいっしょいっしょいっしょ

いつもなら「入れるよ」で。わたしは「うん」かうなずく
だけなのに……
わたしは「おちんちん入れてよ」と可愛く甘えた口調で、
彼の耳元に呟き返してあげた。

く
ん

彼の熱くて大きいのが入ってきた。
わたしと彼が「つながった」「ひとつに
なった」と感じる瞬間……





彼のモノが激しくわたしを突いてくる。
今日は一ヶ月ぶりくらいのエッチ。
いつもより激しく睡を振ってきている
感が……

制服の生地が擦れる音、二人の吐息が
部屋内に漂う。
わたしは彼にされるがまま、体位をか
える。
お人形のように御主人様の思うがまま
に、望むがままに應える。

彼は自分が全裸で、わたしが半裸のエッチな癖を好む。
「へんな奴だわ」か「性癖」かと思いきや。
彼曰く、「萌えの美学」らしい(呆れ)



チアガールをしたと言ったら「見たい」と言い
着て見せたら「そのままよ♪」なんていう。
「あなた」じゃないので「萌えの定義」は理解しがたいが。
わたしの「萌えポイント」は「ツインテール」と「大きなリボン」
だそうなの……(うーん……)



皆で行った海での水着姿写真を見せれば、
「他人だけに見せるは非道」と非難（何で？）
「同じ仕様？」「リアル再現？」を要求された
上に、やっぱり、そのままエッチを・・・

エッチの際のへんなごだわりは、困りもので
はあるんだけどね〜・・・
ま、「かがみん、萌え〜っよ」とか神聖め
いた恋愛を受けるのも、悪い気はしないみた
いな？♪





困るのは服が乱れることだな…
シワになれば帰宅時に困るし。
汚されたら大問題！
ブランド品や高価な衣類は、さ
すがに脱がせてもらおうか…



彼だけじゃないと思うけど、
彼は避妊具無しでしたがる。

前はは膣内で射精させてあげら
れなかったけど、今日は膣内で
良いよ♪

休み無しの一回目。
一回目の精液が残っ
てるから、アソコが
グチョグチョ。
なんか、一回目のほ
うが感じる♪





ゆるんでだらしなく開ききったアソコを
遊ぶ彼……
やだ……見ないで……恥しいよ……
あっ……お尻はダメだったら!

10
カ
ピ



彼とわたしの精液塗れのおちんちん……
慈愛を込めて愛撫する♪
「汚くはないよ。」
「だって、二人の精液が一緒になってるだけだもん。」
ヌルヌルのおちんちんをしごいてあげたら。彼は
「キモチイイ♪」と喜んでくれた♪
「まだできる?」「できるなら……ねっ?」♪





彼はいろんな体位を知っている。
挿入の角度や深さもいろいろある。
わたしにキモチイイ思いをさせたく
て、頑張ってくれる♪
「どこで憶えてくるの？」と尋ねた
ところ。

「禁則事項ですよ」との答えが…

「言えないようなネタモトなんだ…」

この体位は、けっこうスキ♪
ちよっと苦しいけど、深く挿入さ
れて刺激的。
彼の顔が離れないのも安心できて
イイな♪
大胆になって、思わず声を荒げち
やた♪

「おえ、このまま射精して♪」



彼にうながされて上に乗る。

「好きなように動いてよ」と彼が言う。

自分がキモチイイスポットにあたるように、
彼のものを誘う。



七回目の射撃。

「二度のエッチ回数記録更新だね♪」

「大好きだよ♪」

「これからもいっぱいエッチしてね♪」



「あとかきデ〜〜スツ!!!」

またもや入稿ギリギリです〜〜っ!!

予定入稿日過ぎてます〜〜っ!!

まる2日徹夜してます〜〜っ!!

さすがにマジで死ぬかと思いましたよ。

体調がマジで悪くなりました。

シャレじゃすみませんよ。

ヤナ死に方せずに入稿まで持ちこめて良かったよ〜〜っ!!(笑)

え〜〜...

そんなこんなで、まともに「あとかき」を書く暇が微塵もありません。

ごめんなさ〜〜いっ!!

今回も当本をお手にいただき、ありがとうございます♪

感謝です〜〜っ♪

2007年10月1日(月)PM3:35【雨】

ぷりぷり☺衛門

【発行】華とりぼん 2007年10月8日

【印刷】(有)金沢印刷

【連絡先】hatred10@orange.livedoor.com

(こちらは個人連絡先ではございません。)

※連絡関連につきましては、連絡及び対応が滞る場合がございます。

ご容赦願います。

※無断転載・複製及び関連関与はご遠慮願います。

トラブル等の責任は一切負いかねます。



発行 / 華とりほん 2007年10月8日
著者 / ふりふり 〇衛門 編 / 早乙女 桜